

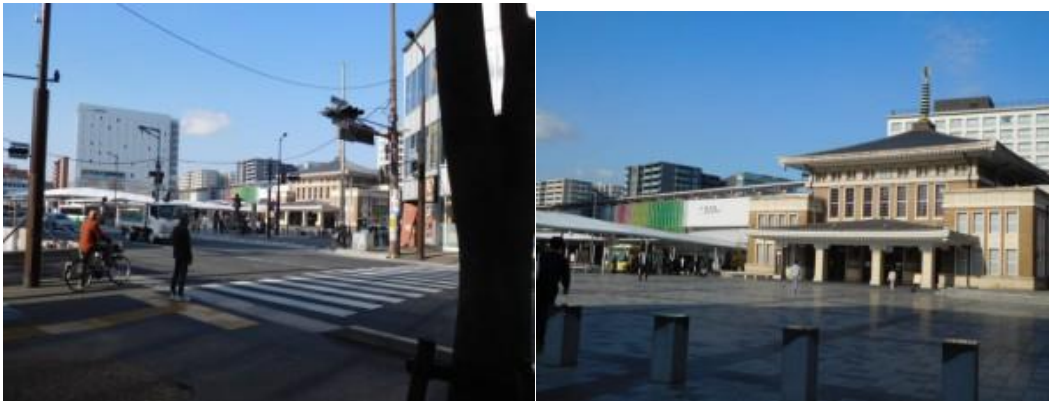
第4章 奈良線（奈良～京都）

第1節 三日目：3月23日：奈良～宇治 快晴

2020年3月23日（月）晴れ、旅の3日目は関西本線（奈良～木津、営業キロ7 km）と奈良線（木津～宇治、19.8 km）に挑戦する。本日の駅舎立ち寄り時刻は次の通り。



※奈良東横イン、居酒屋”天うま”



※奈良駅（東口）

奈良(8:05)～平城山(9:33)～木津(10:33)～上狛(11:10)～棚倉(12:12)～玉水(13:28)～山城多賀(14:31)～山城青谷(15:07)～長池(15:48)～城陽(16:28)～新田(17:05)～JR 小倉(17:36)～宇治(17:58)

なお、奈良から京都に続く路線は、2016年3月から5月にかけて若干歩く道筋は異なるが近鉄京都線でも踏破済である。そして、2017年1月キンドルストアから初の電子版で、高校時代の友人故岩田憲治氏のご協力のもと”こだわり鉄道つたい歩き／近鉄京都線”（300円）で執筆させて頂いた。彼が存命のうちは販売状況を掌握していたが、残念ながら数年前に他界したので不明となっている。



※本物のような小猫、佐保川沿いの桜

本日歩く JR 京都線と近鉄奈良線とでは大きく地形が異なっていた。近鉄京都線は木津川や高の原界隈の山越えに苦労したが、本日の路線はそのような苦労はなく比較的楽であった。新田駅から JR 小倉駅にかけ、両線が接近するが、その他の駅舎では1kmから2km位は離れて並走していた。本日の桜前線は蕾～3分咲きの状況で、残念ながら花見鑑賞のレベルではなかった。春の訪れで色々花が咲き乱れていたが、コロナが世界中で猛威を奮っているのを鑑みれば、春本来のウキウキする気分で桜を中心とした花を鑑賞できず。桜も私の気分を察して、残念な桜前線としたのかも知れない。



※平城山駅ではなく待機場所、平城山駅

ホテルで朝食を済ませ、奈良駅東口に向かい、本日の終着駅の宇治を目指す。8時6分、鉄道下を潜り、鉄道の左側を歩く。佐保川沿いの桜並木を歩く。そして、国道24号線に出る。8時43分、京都40km・木津川市6kmと記した道路標識前を歩く。平城山駅手前で電車が停車したので駅と思い近づいたら駅ではなく、対向車両と回避する場所であった。誤って足を運んだ際地元の人に教えて頂く。なお、奈良線の奈良～木津、JR 藤森～京都の区間は複線であるが、木津～JR 藤森の区間(29.7km)は単線。駅前に十二支の像がある平城駅には9時33分到着。



※木津川駅への路



※木津駅、片町線の踏切

佐保台西町街区公園やため池がある道筋を通り、昨日踏破した反対側の改札口となる木津駅(10時33分)到着。10時23分、片町線(木津～尼崎)の踏切を横切る。国道24号に合流し、10時46分、543歩ある木津川を渡る。これで

やっと木津川要塞から開放される。ややこしい路地を經由し、上狛駅には 11 時 10 分到着。この駅に到着する否や、近鉄奈良線の下狛駅を思い出した。



※木津川越え、上狛駅



※大里第一踏切、第二椿井踏切

大里第二踏切（11 時 20 分）、第二椿井踏切（11 時 35 分）を横切り、洒落た通路がある棚倉駅（12 時 12 分）に到着する。駅前にある今昔物語の蟹満寺（真言宗）が印象に残った。



※棚倉駅



棚倉駅前（蟹満寺の看板と桜）

12時20分、第三平尾踏切を横切り、鉄道の左側にある川沿いの桜並木を歩く。
12時58分、木津川市から井手町となる。13時3分、川田踏切を横切り鉄道の
右側となり、井手町の商店街を歩く。井手町立井手小学校を經由し、玉川沿い
にある桜並木続く遊歩道を歩く。遊歩道には沢山の和歌が石碑に記されていた。
紀貫之の古今集の作品をメモする。「音にきく／井手の山吹／みつれども／蛙
の声は／変らざりけり」



※第三平尾踏切、玉川沿いの桜



※玉川遊歩道にある和歌



※玉水駅、駅前の休憩場

このから少し行った先に快速停車駅の玉水駅（13 時 28 分）あり。この駅前の茶屋で少し遅いがランチとする。



※お袋の味のチャーハンを頂く



※山城多賀駅



※山城多賀駅

ランチタイムを25分位とり、山城多賀駅を目指す。14時21分、出会い橋を通過すると、少し高台に山城多賀駅（14時31分）がある。この駅は、地形や駅舎の周りの民家の状況などから、歴史の浅い駅舎と推察された。14時47分、青谷跨線橋を横切り、鉄道の右側となる。この橋の途中から、井手町から城陽市となる。15時7分、山城青谷駅に到着。15時25分、南南陽中学校があった。それにしても昨日の歩きと異なり、2km位間隔で駅舎があったので、行き過ぎないような細心の気配りを余儀なくされた。また、JR線を右に行ったり左に行ったりする行程を余儀なくされた。



※山城青谷駅への路、これより城陽市



※山城青谷駅



※山城青谷駅



※南城陽中学校、長池駅

15 時 48 分、長池駅に到着。15 時 58 分、裏池踏切を横切り、鉄道の左側となる。16 時 16 分、宇治 6 km・観月橋 9 km と記した道路標識前を通過。城陽駅には 16 時 28 分到着。暫く歩いた先に久世神社あり。新田駅には 17 時 5 分到着。ここから、近鉄京都線の方角に行かないよう注意を要した。方向が大きくずれるからだ。道路を大きく右折し、JR 線に沿って歩いた先に、JR 小倉駅（17 時 36 分）があった。”小倉”と言えは、近鉄京都線踏破の際、小倉駅前で小倉餡の美味しい鯛焼きを思い出した。この JR 小倉駅も山城多賀駅と同様、最近できた駅舎と思われた。駅の構造がシンプルではなかったからだ。つまり、道路下を潜って行くような駅舎構造になっていた。地元住人の要請を受け、利便性を図るため、新田駅と宇治駅の間に無理やり増設されたと推察された。それ故、駅舎のホームが見えない程、道路に沿って目隠しが続いていた。



※裏池踏切、城陽駅



久世神社、新田駅



JR 小倉駅

小倉駅からは、JR 線の右側をキープし、路地から路地の鉄道つたい歩きとなり、醍醐味のある面白い宇治駅への道のりとなった。歴史の街”宇治駅”には 17 時 48 分到着。この駅に到着するや否や、数年前からこの地に来たいと思っていたが、やっと夢かない感無量の思いとなった。この地は、中学校の修学旅行以来で、大学時代 4 年間京都に在住していたにも関わらず、一度も訪問なしの状況であったので。



宇治駅への路

そして、宇治第一ホテルには 18 時 14 分到着。ホテル内の大八で夕食をとり、
本日の疲れを癒す。



※宇治駅、宇治第一ホテル



大八での夕
会

第2節 4日目：3月24日：宇治～京都 晴れ

2020年3月24日（火）、旅の4日目の最終日は、奈良線の宇治から京都までの営業キロ14.9kmに挑戦する。朝、ホテルで朝食をとった後、宇治駅に行き、そこから平等院鳳凰堂を鑑賞（約1時間半）するために立ち寄り、その後鉄道つたい歩きとなる。従って、本日のスケジュール・到着時刻は次のようになった。



※宇治第一ホテル

宇治(8:10) ～ (平等院鳳凰堂鑑賞、8:30) ～黄檗(おうぼく、10:39) ～木幡(11:05) ～六地蔵(11:26) ～桃山(12:31) ～JR 藤森(13:18) ～稻荷(14:08) ～ (伏見稻荷大社参拝) ～ (東福寺参拝) ～東福寺(14:56) ～京都(15:23)



宇治駅



※宇治駅前、平等院への路



※平等院への路、平等院表門

平等院表門前に 8 時 15 分頃到着。赤門は閉鎖されていた。8 時 30 分の営業開始共に 1 番乗りで入館（拝観券 600 円）できる。入るや否や 10 年玉硬貨と見比べる。桜が 7 分咲き位の阿字池に浮かんだ鳳凰堂を軸として、8 時半から 9 時少し前まで境内を散策しながら、種々のアングルから記念写真。



平等院鳳凰堂



平等院の構図、阿弥陀如来坐像と二重天蓋

その後列に並び、鳳凰堂拝観受付で 平等院鳳凰堂内部拝観券（300 円）を購入し、9 時半より鑑賞。それまでの待ち時間を活用し、集印所、鳳翔館と回る。鳳凰堂への入館は1 時間待ったが、見事な” 阿弥陀如来坐像と二重天蓋(国宝)”を拝観でき最高の気分となった。いずれも木製でできており、平安時代当時の仏像や建築などの技術の高さに唯々感服また感服であった。この平等院を 9 時 50 分頃退館し、ウォーキングに戻る。



鳳翔館、鳳凰堂への拝観橋

紫式部の像が宇治橋の手前にあった。9 時 56 分、246 歩ある宇治橋を渡る。橋を渡ると野鳥をカメラに収めている年配のグループがあった。



※紫式部、宇治橋にて

国道 7 号線を歩く。私が田舎の手土産で利用させて頂いている紫式部あられの販売店があった。いつの間にか宇治市の豪華な遊歩道の道筋から一般的な道筋となる。京都芸術高等学校前にある黄檗駅には 10 時 39 分到着。



※紫式部のあられ店、府道 7 号線（宇治市五ヶ庄）、黄檗駅

木幡駅は木幡踏切を横切り少し戻った先にあった。高校生の集団と鉢合わせとなる。快速停車駅の六地藏には 11 時 26 分到着。JR 線を潜った先に駅舎はあった。踏破後は、JR 線の右側に戻る。風が心持ち強く感じた。



※木幡踏切、木幡駅



※六地藏駅、JR 線潜り奈良線の左側に

六地藏から桃山にかけて、右往左往する箇所があり。11 時 47 分、鉄道下を潜り JR 線の左側となる。JR 線の左側は、近鉄や京阪電鉄が並走しており、細心の注意が要求された。それ故、JR 線に沿った幹線道路を探すのに神経を費やした。JR 線を潜った先に、JR に沿った路筋はあったが、若干道筋が細かったのが疑心暗鬼で進むことにする。行き止まりのリスクもあったが。しかし、500m位歩き道筋がしっかりしてきたので安堵する。12 時 17 分、江戸町の交差点で右折し JR 線に近づく。この界限で京阪電鉄の車両と対面する。JR 線の線路は、突き当たった先（12 時 23 分）にあり安堵する。桃山駅には 12 時 31 分到着。駅界限には大光明寺陵があった。



※桃山駅への路、京阪電車



※大光明寺陵、桃山駅

桃山駅から JR 藤森駅への道筋が本日一番難しかった。鉄道に沿った路筋がなく、奈良線の線路を鋸型で左右に行くことを余儀なくされたからだ。12時36分、大手道踏切を横切り鉄道の右側を歩く。暫くは鉄道に沿った右側を歩く。しかし、踏切となり行き止まりとなる。それ故、鋸型歩きにするが、線路に沿った路筋から大きくずれる。12時47分、京都総合教育センターの近く辺りで、地元の人に聞き、線路に近づくよう補正する。暫く歩くと福島児童公園があった。



※大手道踏切、鉄道に沿ってつたい歩き

第一御陵踏切があり、この踏切を渡るかどうか迷う。またしても地元の人に尋ねるが適切な回答が得られず。第六感でこの踏切（13時2分）を横切る。この決断は結果的に大正解であった。そして、道なりに歩いた先に JR 藤森駅（13時18分）があったからだ。この駅も JR 小倉駅と同様地元の住民のための利便性を図るため最近できた駅と推察された。この駅から複線となる。



※京都府総合教育センター、第一御陵踏切



路地から路地歩き、JR 藤森駅

13 時 28 分、JR 線に跨る道路を歩き、鉄道の右側となる。13 時 35 分、久宝寺踏切界限でこの踏切を渡るか否か迷う。ラッキーにも、この踏切手前で京都府立医大の学生と会い、「この踏切を渡って稲荷駅行くべきかどうか」をお尋ねする。「この踏切を渡った方が分かりやすい」との助言を頂く。この助言が功を奏し、稲荷駅にスムーズに到着できる体制となる。13 時 50 分、懐かしい市バスのバス停坊町があった。14 時 6 分、伏見街道踏切を横切り鉄道の右側となる。14 時 8 分、稲荷駅に到着。



※久宝寺踏切、市バス坊町バス停



※稲荷駅近し、稲荷駅

ラッキーにも駅前にある伏見稲荷大社を参拝する機会を得る。感謝感激。この神社にはいつか参拝したいと思っていた。その夢が本日実現でき感無量となる。加えて、東福寺（14 時 37 分）に立ち寄る機会もできラッキーであった。



※伏見稲荷大社



※東福寺、東福寺駅

JR 線と京阪電鉄が合流する東福寺駅には 14 時 56 分到着。駅界隈には瀧尾神社があった。地下にある京阪電鉄を横切り、塩小路通りに出る。京都タワーがくっきり見える。105 歩ある塩小路橋（鴨川）と 6 歩の高瀬川を渡ると京都駅（15 時 23 分）があった。駅前で今回の旅の記念に写真を撮って頂く。



※塩小路通りからの京都タワー、鴨川から、高瀬川から



※京都駅近郊



目標達成の瞬間（京都駅にて）

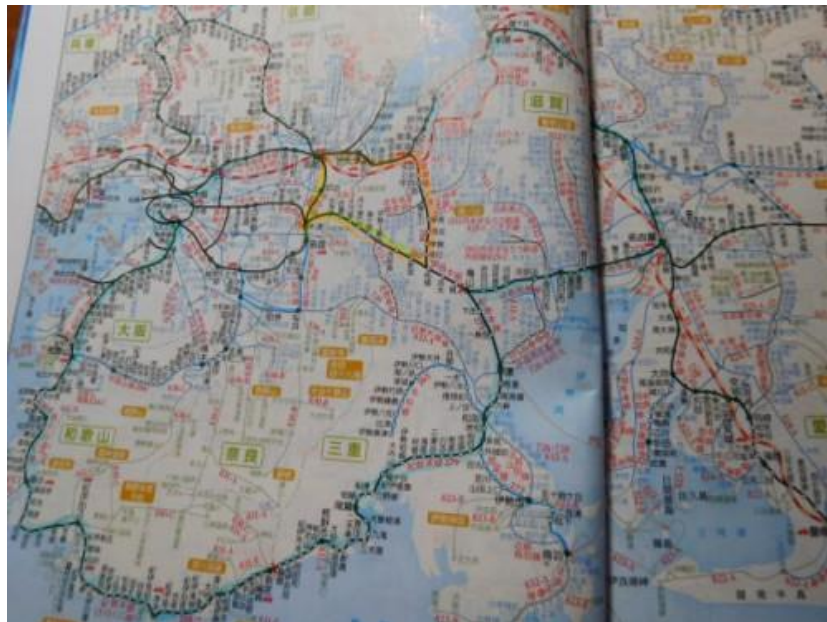
京都 16 時 8 分発のひかり 514 号で家路に向かう。まとめ編に続く！！



※家路に向かう！！ささやかな祝杯

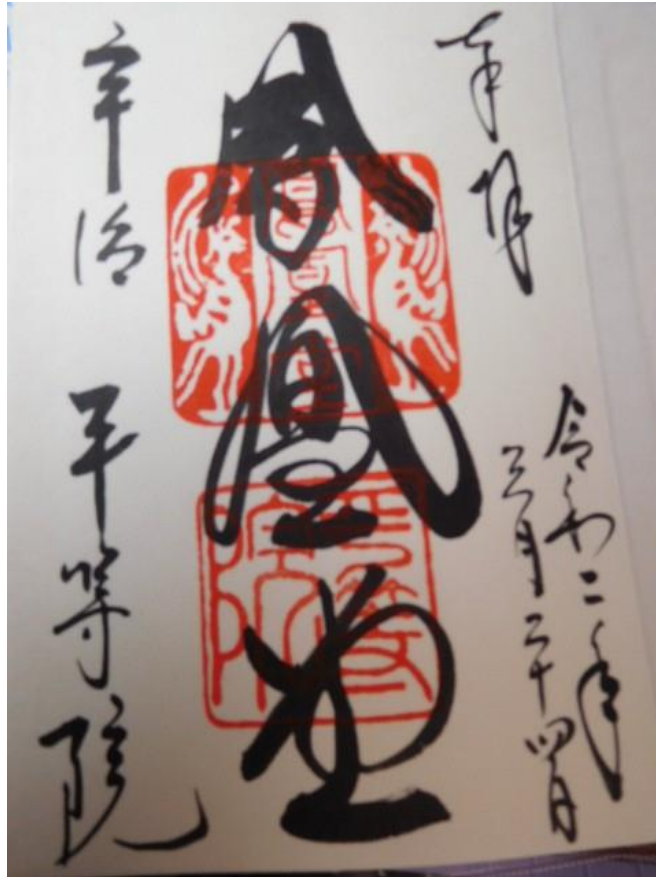
第3節 奈良線（まとめ）

2020年3月21日（土）～3月24日（火）までの4日間は、お蔭様で天気にも恵まれた旅であった。天や神に感謝あるのみ。関西本線の名古屋～亀山～柘植～木津～奈良を踏破することにより、名古屋経由で歴史の街を数珠つなぎで奈良～宇治～京都と鉄道つたい歩きで繋がった。同時に、柘植～木津～京都～草津～柘植と四辺形の軌跡を描くことができた。また、名古屋～亀山～多気～鳥羽～伊良子岬～豊橋鉄道～豊橋～名古屋と海のルートを通じても踏破網ができた。



しかも、名古屋～桑名～亀山～津～松阪～多気～尾鷲～新宮～勝浦～串本～白浜～御坊～和歌山～天王寺～弁天町～大阪～新大阪～京都～草津～米原～岐阜～名古屋と大きな名古屋圏・関西圏の外線の中に、今回新たな内線ができ嬉しい限りだ。これから、外線の内部にある鉄道に対し、機会を覩て順次踏破したいものだ。これまで環状線、近鉄京都線、南海高野線など断片的な鉄道網であったのが、今回の鉄道つたい歩きを通じて、関西圏の鉄道網が系統的に繋がったような気がする。

加えて、大学時代の友人と旧交を温める機会を得ると同時に、伊賀上野城、平等院、伏見稻荷大社など観光でき最高の4日間であった。それ故、今回の関西本線・奈良線の旅も収穫は大であった。



※平等院鳳凰堂の集印(2020年3月24日)、コロナ出ていけ！！

写真も208枚と沢山掲載した関係で、今回の投稿を含め、”関西本線・奈良線の旅”は12編と想定外の膨大な旅日記となりました。お忙し中、カッシー館にお立ち寄り頂き誠に有難うございました。この場をお借りし厚く熱く御礼申し上げます。これからもコロナに負けないよう頑張ろうと思っています。引き続きご愛顧宜しく願い申し上げます。・・・・完

’ ’ ♪・・・・・・(^.^)♪・・・・・・♪・・・・・・

なお、今回の旅を終え、各位から次のようなSNSやSMSを頂戴したのでその一部をご紹介します。

○☺目標達成！！

○平等院も伏見稲荷も空の青が素晴らしい！その気持ちを持ち続けてください。青春とは歳月でなく、心の様相を言う・・・サミエルウルマンの詩を思い出します。

○もう何年たったか忘れるほど、昔、伊賀上野の町に行きました。忍者屋敷や城に行ったなあ～

○あ疲れ様！JR 奈良線沿いを歩いたのでしょうか？桜の花みられれラッキーでしたね。

○お疲れ様です。無事、踏破おめでとうございます。良い酒になって良かったですね！自宅に無事に着くまでが旅行などで、お気を付け下さい。

○お疲れさまでした。新幹線はがら空きではありませんか。先日、蔵王温泉からの帰りの、山形新幹線も東海道新幹線もガラガラに空いていました。これでは、国鉄大丈夫かと、他人事ながら心配でした。

○お疲れ様でした。

○美味しいビール？乾杯！オリンピック大変みたい。せっかく空けといたのに・・・。

○天気を良かったですね！写真送ってくださいね！

○おめでとうございます。祝杯おいしそうですね！

○お疲れ様でした。楽しめて良かったですね。

○無事完歩との事、おめでとうございます。小生は持病もあり、今は、机上にて旅を楽しんでいます。（北陸街道、彦根～上越市約 400 km、15～6 日予定）

○乾杯！又一つ嬉しい記録更新しましたね！おめでとうございます。オリンピックが延期に。私達の北海道の旅も延期せざるをえな・・・いかも。仕方ないですね。

○おめでとうございます。今ブログを開いて、まだ未更新だなあ！と眺めたところでした。

○お疲れ様！

○乾杯！おめでとうございます。お疲れ様でした。気をつけてね。

○おめでとうございます！お疲れ様！！最終日は、少し寒かったね。アンヨ、大丈夫ですか？檜原さん、あなたは偉い！

○お疲れさまでした。祝杯のあとは、心地よくうたた寝できますね。

○お帰りなさい　おめでとうございます

○お気をつけて！